

所 報

◆昭和41年度優秀論文の審査表彰

当研究所では、前年度に引き続き、アジア等諸地域に関する研究水準の向上をはかり、新進研究者の研究奨励に資するため、昭和41年度に発表された「アジア等開発途上諸国の経済発展に関する諸問題」に関する優秀論文の審査表彰を下記の要領で実施する。

1. 審査対象の範囲

- (1) 昭和41年(1月～12月)において発表されたもの
- (2) わが国で刊行された雑誌ならびに論文集(単行本を除外する)に掲載された論文、調査報告(共同研究の論文も含む)。
- (3) アジア等開発途上諸国の経済発展に関する諸問題(政治、社会等の関連分野を含む)の分析または展望に関するもの。
- (4) 選考の対象は新進研究者に主眼をおき、年齢35歳以下を目途とする。
- (5) 推せん論文は1人2点以内とする。

2. 選考方法

推薦された論文について、当研究所の予備審査を経たのち、下記の審査委員の審査を経て決定する。

3. 表 彰

最優秀論文を選定し、賞状ならびに賞金10万円を授与する。ただし、該当者が当研究所職員の場合は記念品とする。

4. 審査、表彰等の時期

| | |
|-----------|------------|
| 推薦論文の提出 | 昭和42年2月25日 |
| 優秀論文の審査決定 | 昭和42年3月15日 |
| 表 彰 | 昭和42年3月20日 |

5. 審査委員(五十音順)

| | |
|----------|--------------------|
| 委員長 東畑精一 | 当研究所長 |
| 委員 石川 滋 | 一橋大学教授 |
| ” 石田 雄 | 東京大学教授 |
| ” 大来佐佐郎 | 日本経済研究センター理事長 |
| ” 小倉武一 | 当研究所理事 |
| ” 川田 侃 | 東京大学教授 |
| ” 川野重任 | 東京大学教授 |
| ” 林 雄二郎 | 経済企画庁経済研究所長 |
| ” 日高六郎 | 東京大学教授 |
| ” 山口 衛一 | 通商産業省貿易振興局経済協力政策課長 |

◆昭和41年度現地調査の実施

| 訪 問 国 名 | 氏 名 | 現 職 | 調 査 課 題 | 期 間 |
|----------------------------|--------------|------------------------------|-----------------------|-----------------|
| 台湾、フィリピン、タイおよびカンボジア | 斎藤一夫 | 当研究所調査研究部 東南アジア第2調査室長 | 東南アジア諸国の農業開発 | 1月6日 ～2月24日 |
| 台湾、フィリピン、シンガポール、マレーシアおよびタイ | 森村 勝 木納 崇 | 当研究所図書資料部参事 三井物産(株)調査部調査課 | フィリピン、マレーシア等における経済現況 | 1月10日 ～2月23日 |
| インド、パキスタンおよびセイロン | 大杉一雄 | 当研究所図書資料部参事 | インド、パキスタンおよびセイロンの経済現況 | 1月11日 ～2月24日 |
| インドおよびパキスタン | 斎藤勝彦 | 日本輸出入銀行営業第2部 投資第1課調査役 | インドおよびパキスタンの経済現況 | 1月11日 ～2月17日 |
| アラブ連合 | 鈴木弘明 | 当研究所調査研究部中東調査室 | エジプトの企業家 | 1月15日 ～3月5日 |
| フィリピン | 西尾 滋 | 東京大学名誉教授 | 日本の海外銅資源開発の現状 | 1月16日 ～2月14日 |
| インド、セイロン、シンガポール、マレーシアおよびタイ | 加藤昭雄 | 当研究所図書資料部参考課 | 南アジアの経済開発計画 | 1月16日 ～3月6日 |
| 韓国、タイおよびマレーシア | 高橋達男 | 大蔵省関税局業務課 | 東南アジア諸国における関税通商制度 | 1月21日 ～3月6日 |

◆在外職員の動き

(1) 出発

| 氏 名 | 派遣地 | 課 題 名 | 出発月日 |
|---------|-------|---------------------------------|-------|
| 梅 沢 達 雄 | ジャカルタ | インドネシア社会主義の法制的研究 | 1月6日 |
| 林 晃 史 | ナイロビ | ケニアの農業開発計画と農村社会経済構造 | 1月15日 |
| 浅 野 幸 穂 | マニラ | フィリピンの経済発展過程——経済政策の展開との関連において—— | 1月28日 |
| 松 尾 大 | バンドン | インドネシア綿織物工業の発展 | 1月31日 |

(2) 帰国

| 氏 名 | 派遣地 | 課 題 名 | 帰国月日 |
|---------|------|------------------|------|
| 吉 田 昌 夫 | カンパラ | 東アフリカ農産物に関する経済組織 | 1月7日 |

(3) 出張

| 氏 名 | 出張目的 | 出張地 | 期 間 |
|---------|---|---|-------------|
| 大 内 穂 | 「国民会議派と第4次総選挙」のためのケース・スタディ等のため | マドラス, ボンディチェリー, サレム, コインバトル, カルカッタ | 1月3日～1月17日 |
| 小 林 弘 二 | 東南アジア華僑に対する政治的影響調査のため | プノンペン, バンコク, クアラルンプール, シンガポール | 1月7日～1月20日 |
| 中 村 尚 司 | セイロンへのプランテーション移住労働者の出身農村の調査等のため | マドラス, ボンベイ, ハイデラバード, ニューデリー, カルカッタ, タンジョール | 1月8日～3月9日 |
| 吉 岡 雄 一 | 経済協力強調運動作文入賞高校生の引率およびシンガポールの経済状態の調査のため | シンガポール | 1月10日～1月13日 |
| 今 川 瑛 一 | インド, パキスタン, ビルマの生活水準調査のため | ラングーン, カルカッタ, マドラス, ボンベイ, デーリー, カラチ | 1月2日～1月25日 |
| 小 坂 允 雄 | ブラジル南部諸州の産業開発実態調査のため | ポルト, アレグレ, サンタマリア, リブラメント, サンパウロ | 1月15日～1月23日 |
| 林 一 信 | インドおよびセイロンの資料収集のため | カルカッタ, ボンベイ, プーナ, ハイデラバード, パンガロール, マドラス, コロンボ | 1月17日～2月21日 |
| 石 井 章 | ラグーナ地区のエヒードの調査のため | トレオン | 1月14日～1月19日 |
| 石 井 一 郎 | バローダ地区の Business Group の活動状況および資料の調査のため | バローダ, アーメダバード | 1月15日～2月10日 |

◆外国人の来訪

1月17日, Mr. G. V. Subba Rao (UNICEF, Inter-regional Planning 顧問) 来所。東畑所長, 荒川長期成長調査室長, 田部専門調査員と, アジアの人的資源開発の研究に関する国際交流について意見を交換した。

中調査研究部東南アジア第2調査室長事務代理を命ずる
以上 昭和42年1月6日付け

図書資料部参事 森村 勝
「フィリピン, マレーシア等における経済現状(とくに投資環境)」に関する現地調査のため昭和42年2月23日までフィリピンほか4カ国へ出張を命ずる

以上 昭和42年1月10日付け

◆主な人事異動

調査研究部東南アジア第2調査室長 斎藤一夫
「東南アジア諸国の農業開発」に関する現地調査のため昭和42年2月24日まで台湾ほか3国へ出張を命ずる
調査研究部専門調査員 滝川 勉
調査研究部東南アジア第2調査室長斎藤一夫海外出張

図書資料部参事 大杉一雄
「インド, パキスタンおよびセイロンにおける経済現状(とくに投資環境)」に関する現地調査のため昭和42年2月24日までインドほか2カ国へ出張を命ずる

昭和42年1月11日付け